

地域 01 : 診療情報学

日時 : 4月7日(火) 3時限

担当者 : 木下 俊介(総合診療内科)

内容 :

診療情報の利用方法, 情報管理とプライバシー保護について説明できる。(コアカリ B-2-2)

1. 診療録に関する基本的な知識を説明できる。
2. 診療情報の種類や特性について説明できる。
3. 個人情報保護につき, 根拠法を含め説明できる。
4. 診療情報管理の必要性と方法について説明できる。

キーワード :

個人情報保護, 診療情報管理士, 紙カルテと電子カルテ, 診療情報の種類と特性, 診療録記載法

予習 :

キーワードについて辞書、Web 等を用いて調べてくる。(10~15分)

地域 02 : 保険診療のしくみ

日時 : 4月13日(月) 3時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学)

内容 :

我が国の保険制度の基本について、大学病院における DPC について理解する。

1. 我が国の保険制度の特徴を説明できる。
2. 診療報酬体系について説明できる。
3. DPC の仕組みについて説明できる。
4. 国民医療費に含まれる診療行為とその総額について説明できる。
5. 診療所における診療報酬の算定方法について説明できる。
6. 医療機関の規模や機能による診療報酬体制の違いを説明できる。

キーワード :

国民皆保険、出来高払い、包括払い、国民健康保険、診療報酬点数、社会保険、DPC、診療報酬点数表、初診料、再診

教科書 :

- ◆ 地域医療学入門(診断と治療社) p78-83

準備 :

教科書該当部分を読んでから参加する。(15分)

地域 03 : 高齢者を理解する 1

日時 : 4月17日(金) 1時限

担当者 : 本間 聡起(医学教育センター)

内容 :

1. 老化学説、老化制御、加齢に伴う臓器の構造的・機能的変化を説明できる。
2. 高齢者総合機能評価<CGA>の実施方法を説明できる。
3. 老年症候群の概念を説明できる。
4. フレイル、サルコペニア、ロコモティブ・シンドロームの概念を説明できる。

キーワード :

老化学説、老化制御、加齢、高齢者総合機能評価<CGA>、老年症候群、フレイル、サルコペニア、ロコモティブ・シンドローム、改定長谷川式認知症スケール

準備 :

キーワードについて朝倉内科学書(第11版) I p43-p56 を参考に調べてくる。(15分)

地域 04 : 高齢者を理解する 2

日時 : 4月17日(金) 2時限

担当者 : 本間 聡起(医学教育センター)

内容 :

1. 認知症、うつ、せん妄の違いを説明できる。
2. 歩行障害・転倒の評価、鑑別診断を説明できる。
3. 摂食・嚥下障害の評価について説明できる。
4. 高齢者の栄養マネジメントを説明できる。
5. 加齢に伴う薬物動態の変化、高齢者に対する薬物療法の注意点を説明できる。

キーワード :

認知症、せん妄、歩行障害、摂食・嚥下障害、ポリファーマシー

参考書 :

- ◆ 内科診断学第3版 p419~423、p660~p665、p717~p722
- ◆ 朝倉内科学書第11版 I p55~56

準備 :

キーワードについて教科書を参考に整理する。(15分)

地域 05 : 医療の質とクリティカルパス

日時 : 5月27日(水) 4時限

担当者 : 小山 勇(国セ 消化器外科)

内容 :

1. 医療の質をどうやって評価するか説明できる。
2. クオリティインディケータとは何か説明できる。
3. クオリティインディケータを5つあげられる。
4. Team STEPPSについて説明できる。
5. クリティカルパスの目的を述べるができる。
6. Value-based Care と Evidence-based Care の違いが理解できる。

キーワード :

医療の質、クリティカルパス、Team STEPPS、クリニカルインディケータ、Value-based Care

準備 :

キーワードを Web 検索し、概念を知る (30分)

地域 06 : 地域リハビリテーション

日時 : 9月8日(火) 4時限

担当者 : 齊藤 正身(霞ヶ関南病院理事長) 柴崎 智美(医学教育学)

内容 :

1. 介護保険導入後に見えてきたリハビリテーションの課題について説明できる。
2. 生活機能低下の原因を列挙することができる。
3. 現在行われている介護予防の効果について自分の意見を述べるができる。
4. 高齢者の状態像に応じた適切なアプローチについて説明できる。
5. 地域包括ケアシステムとリハビリテーションの役割について説明できる。
6. 地域リハビリテーションの基本概念について説明できる。

キーワード :

介護予防、要介護者、廃用症候群、地域包括ケアシステム、ICF < nternational Classification of Functioning, disability and Health >

準備：

キーワードについて図書、Web等を用いて調べてくる。(15分)

地域07：リハビリテーション概論

日時：9月14日(月) 4時限

担当者：高橋 秀寿(国セ リハビリテーション科)

内容：

リハビリテーションの概念と歴史、国際障害分類、国際生活機能分類を理解する。

1. リハビリテーションの概念と適応を説明できる。
2. 自立生活運度を理解する。
3. 国際障害分類 (ICIDH)と国際生活機能分類 (ICF)の違いを説明できる

キーワード：

ICIDH < International Classification of Impairments, Disabilities, and Handicaps >、ICF < International Classification of Functioning, disability and Health >、機能障害、日常生活動作 (ADL: activities of daily living)、FIM < Functional Independence Measure >

参考書：

- ◆ 現代リハビリテーション医学 第4版

準備：

キーワードについてこれまで学んだことを復習し、教科書で整理しておく。(15分)

地域08：リハビリテーションとチーム医療

日時：9月14日(月) 5時限

担当者：丸山 元(国セ リハビリテーション科)

内容：

リハビリテーションチーム医療を理解する

1. 理学療法、作業療法、言語聴覚療法を概説できる。
2. 専門職の役割分担とチーム医療について説明できる。
3. チームアプローチの3つの形態モデルを理解する
4. 主な歩行補助具、車椅子、義肢(義手、義足)と装具を概説できる。

キーワード：

多職種チームモデル、相互関係チームモデル、相互乗入れチームモデル、脳卒中ユニット、

参考書：

- ◆ 現代リハビリテーション医学 金原出版 第4版

準備：

キーワードについて調べておく。(15分)

地域09：エンドオブライフケアと尊厳死

日時：9月15日(火) 1時限

担当者：内田 望(国セ 緩和医療科)

内容：

人生の最終段階における医療(エンド・オブ・ライフ・ケア)について理解する。

1. エンド・オブ・ライフケアの概要について説明できる。
2. 尊厳死について説明できる。
3. アドバンス・ケア・プランニングについて説明できる。

キーワード：

終末期患者、ターミナルケア、緩和医療、症状コントロール、ホスピス、安楽死、尊厳死、意志決定、事前指示、Do not attempt resuscitation < DNAR >

準備：

キーワードについて辞書、インターネット等を用いて調べてくる。(15分)

地域 10：良医とは何か

日時：9月17日（木） 3時限

担当者：江利川 毅(医療政策学) 金田 光平(医学教育センター)

内容：

1. 品位ある医療（必要にして十分な医療）について説明できる。
2. 「忠恕」について説明できる。
3. 患者に対してどう向き合うのが良医なのか、自分の言葉で説明できる。

キーワード：

治療的自己、暖かい「こころ」、患者の自己決定権（インフォームドコンセント）

参考書：

- ◆ 美しい死（森亘 著）アドスリー
- ◆ 治療的自己（日本診療内科学会治療的自己評価基準作成委員会 訳）アドスリー
- ◆ 人生の最終章を考える（医療科学研究所 監修）法研

準備：

キーワードについて辞書やインターネットを用いて調べてくる。(10分)

地域 11：総合診療と在宅医療 1

日時：9月29日（火） 1時限

担当者：大和 康彦(共済病院) 柴崎 智美(医学教育学)

内容：

1. 地域医療・在宅医療に求められる総合診療力について説明できる。
2. 在宅医療における病歴・身体診察を重視した診断推論について説明できる。

キーワード：

総合診療・6つのコンピテンシー、総合診療力、BPSモデル（生物心理社会モデル）、事前確率、尤度比、陽性尤度比、事後確率

教科書：

- ◆ 地域医療学入門 2019年8月9日発行 診断と治療社 第2章⑧p92-99(15分)

予習：

教科書該当ページを読んでくること(15分)

地域 12：総合診療と在宅医療 2

日時：9月29日（火） 2時限

担当者：大和 康彦(共済病院) 柴崎 智美(医学教育学)

内容：

1. 健康問題に対する包括的アプローチについて説明できる。
2. 心理・社会的背景により配慮した在宅医療について説明できる。
3. 在宅医療における多職種連携について説明できる。

キーワード：

包括的アプローチ、多職種連携、総合診療、在宅 CV 管理、皮下輸液、胃瘻、小児在宅医療

教科書：

◆ 地域医療学入門 2019年8月9日発行 診断と治療社 第2章⑧p92-99

予習：

キーワードについて教科書、文献、Web等を用いて調べておくこと。(15分)

地域13：公衆衛生・地域保健の視点に立った感染症対策

日時：12月3日(木) 2時限

担当者：本多 麻夫(県保健医療部) 柴崎 智美(医学教育学)

内容：

1. 地域における感染症対策の柱について説明できる。
2. 海外発生が想定される輸入感染症を列挙し、その特徴について説明できる。
3. 地域における異常の探知の経路について例を挙げて説明できる。
4. 感染拡大の防止対策の基本について説明できる。
5. 地域における感染症対策における医師の役割を説明できる。

キーワード：

感染症クライシス、感染源、感染経路、感受性、COVID-19

準備：

キーワードについて、図書、Web等を用いて調べておく。(15分)

地域14：地域感染症のフィールド疫学と理論疫学

日時：12月3日(木) 3時限

担当者：荒木 隆一郎(医学教育センター) 柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平
(医学教育センター) 杉浦 由佳(医学教育センター)

内容：

感染症流行状況の記述と分析に基づいて感染症に対応するために必要な知識を学ぶ。

1. 感染症フィールド疫学の概要を説明できる。
2. 新型インフルエンザ等の発生時に国・自治体・医療機関等が実施すべき対応を説明できる。
3. SIRモデル、SEIRモデル等感染症数理モデル、および感染症エージェントベースモデルについて説明できる。
4. 感染症に対する地域での守りと地域封じ込め策について説明できる。

キーワード：

感染症フィールド疫学、理論疫学、感染症数理モデル、SIRモデル、SEIRモデル、エージェントベースモデル、流行曲線、基本再生産数、実効再生産数、ワクチン目標接種率、感染症発生動向調査、新型インフルエンザ、COVID-19、新興・再興感染症、地域封じ込め、内閣感染症危機管理統括庁

参考書：

谷口清州(著) 感染症疫学ハンドブック. 医学書院 (2015/6/8)

西浦博(編著) 感染症疫学のためのデータ分析入門. 金芳堂 (2021/10/10)

予習：

キーワードについて、教科書、文献、Web等を用いて調べる (15分)

復習：

シラバスの項目を各々数行程度でまとめる (15分)

地域 15 : IPW 演習 1

日時 : 12月4日(金) 3時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター) 井上 直子
(医学教育センター)

内容 :

末期がん患者のシナリオを用いて、その人のより良い暮らしの実現を目指した療養計画を立案する。5～6人のグループで、入院中の患者さんの情報からその人の人生について考える。その際、2年生の地域医療とチーム医療ユニット IPW 論で学んだ他職種と連携するために必要なコミュニケーション、チーム形成、ヒューマンケアの考え方や方法を思い出しチームで取り組む。

1. 患者さんの病歴から、強みや課題を列挙することができる。
2. 患者さんのその後の暮らしの目標を考え、チームで共有することができる。
3. 患者さんのより良い暮らしの実現のために自ら専門職として何が出来るか考えることができる。
4. 患者さんの目標を達成するために連携する専門職を列挙することができる。

キーワード :

ICF、ケアマネジメント、緩和医療、専門職連携

備考 :

彩の国連携力育成プロジェクトの IPW 演習に含まれる。

準備 :

事前に自分の配置を確認し、担当の事例について、資料を読み込んでおくこと。事前自己評価などのアンケートに回答すること。

地域 16 : IPW 演習 2

日時 : 12月4日(金) 4時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学) 米岡 裕美(教養教育) 金田 光平(医学教育センター)
高橋 幸子(医療人育成センター・地域医学推進センター) 宮崎 孝(社会医学)
杉浦 由佳(医学教育センター) 荒木 隆一郎(医学教育センター) 井上 直子
(医学教育センター) 小池 啓子(医学教育センター) 本橋 千恵美(医学教育センター)

内容 :

IPW 演習 1 と同じ

地域 17 : IPW 演習 3

日時 : 12月4日(金) 5時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学) 米岡 裕美(教養教育) 金田 光平(医学教育センター)
高橋 幸子(医療人育成センター・地域医学推進センター) 宮崎 孝(社会医学)
杉浦 由佳(医学教育センター) 荒木 隆一郎(医学教育センター) 井上 直子
(医学教育センター) 小池 啓子(医学教育センター) 本橋 千恵美(医学教育センター)

内容 :

IPW 演習 1 と同じ

キーワード :

地域 18 : IPW 演習 4

日時 : 12月4日(金) 6時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学) 米岡 裕美(教養教育) 金田 光平(医学教育センター)
高橋 幸子(医療人育成センター・地域医学推進センター) 宮崎 孝(社会医学)
杉浦 由佳(医学教育センター) 荒木 隆一郎(医学教育センター) 井上 直子
(医学教育センター) 小池 啓子(医学教育センター) 本橋 千恵美(医学教育センター)

内容 :

IPW 演習 1 と同じ

キーワード :

地域 19 : 地域感染症のデータサイエンス演習 1-3

日時 : 12月14日(月) 4~6時限

担当者 : 荒木 隆一郎(医学教育センター) 柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平
(医学教育センター) 杉浦 由佳(医学教育センター)

内容 :

1. 新型インフルエンザ等の発生時に国・自治体・医療機関等が実施すべき対応を説明できる。
2. 埼玉医科大学地域感染症 GIS ネットワークシステムを自ら操作してサーベイランスデータを取得し、地域の小中学校における学校感染症流行状況に関する図表を作成するとともに地域毎の流行状況の特徴について考察し説明できる。
3. 全国及び地域の感染症サーベイランスデータを用い、流行曲線に基づき基本再生産数、実効再生産数等の日次推移を推定して、グラフを作成し考察するとともに今後の流行予測および隔離・ワクチン接種等の対策の効果を説明できる。

キーワード :

感染症フィールド疫学、理論疫学、感染症数理モデル、SIR モデル、SEIR モデル、エージェントベースモデル、流行曲線、基本再生産数、実効再生産数、ワクチン目標接種率、感染症発生動向調査、新型インフルエンザ、COVID-19、新興・再興感染症、地域封じ込め、内閣感染症危機管理統括庁
IT-02-01-02

参考書 :

谷口清州(著) 感染症疫学ハンドブック. 医学書院 (2015/6/8)
西浦博(編著) 感染症疫学のためのデータ分析入門. 金芳堂 (2021/10/10)

予習 :

WebClass の事前学習用資料と教材動画で演習の概要を理解しておく (20 分)

復習 :

指示した演習問題を解き、WebClass に提出する (20 分)

地域 20 : 地域感染症のデータサイエンス演習まとめ

日時 : 12月21日(月) 3時限

担当者 : 荒木 隆一郎(医学教育センター) 柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平
(医学教育センター) 杉浦 由佳(医学教育センター)

内容 :

地域 19 の演習時に取り組んだ内容の振り返りと演習問題の解説を行い、地域における感染症対策の理解を深める。

キーワード：

感染症フィールド疫学、理論疫学、感染症数理モデル、SIRモデル、SEIRモデル、エージェントベースモデル、流行曲線、基本再生産数、実効再生産数、ワクチン目標接種率、感染症発生动向調査、新型インフルエンザ、COVID-19、新興・再興感染症、地域封じ込め、内閣感染症危機管理統括庁

参考書：

谷口清州（著）感染症疫学ハンドブック．医学書院（2015/6/8）

西浦博（編著）感染症疫学のためのデータ分析入門．金芳堂（2021/10/10）

予習：

地域19の演習内容を振り返り、わからなかった箇所を整理しておく（20分）

復習：

地域14, 18, 20の演習全体を振り返り、学修した内容を整理する（20分）

地域21：埼玉県の地域医療

日時：12月23日（水） 4時限

担当者：丸木 雄一(埼玉県医師会) 金田 光平(医学教育センター) 柴崎 智美
(医学教育学)

内容：

1. 埼玉県の地域医療の現状と課題を説明できる。
2. 埼玉県の地域医療ビジョン、地域包括ケアシステムについて説明できる。
3. 地域医療における医師会の役割について説明できる。

キーワード：

地域医療、医師数、地域医療ビジョン、日本医師会、アドバンス・ケア・プランニング、人生会議

準備：

キーワードについて辞書やインターネットを用いて調べてくる。(15分)

地域22：チーム医療

日時：1月8日（金） 1時限

担当者：金田 光平(医学教育センター) 柴崎 智美(医学教育学) 植村 真喜子
(社会医学)

内容：

- 4年生臨床入門の地域医療実習について理解する。
1. 病院基盤型のチーム医療と地域基盤型のチーム医療の違いを説明できる。
 2. 地域基盤型専門職連携実践に必要な視点について説明できる。
 3. 地域における医師の役割について自分の意見を述べるができる。

キーワード：

チーム医療、専門職、ヒューマンケア、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、社会福祉士

準備：

講義内容について1～3年地域医療とチーム医療ユニットで学んだことを振り返り自分の言葉で記述する。(15分)

地域 23 : まとめ (ユニット内テスト)

日時 : 1月14日 (木) 3時限

担当者 : 金田 光平(医学教育センター) 柴崎 智美(医学教育学) 井上 直子
(医学教育センター) 米岡 裕美(教養教育)

内容 :

ユニットの講義、演習で学習した内容について、WebClass を用いて確認テストを行う。

予習 :

22回の講義の内容について、毎回復習した内容について見直しを行っておく。(60分)

復習 :

確認テスト終了後公表される講評をよく読み理解を深めること (20分)